

あかしあ

AKASHIA

- 発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
 ●連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5
 電話 03(3849)1188
 FAX 03(3849)7001
 ●印刷足立区大谷田就労支援センター
 法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

平成23年度 第2回評議員会・理事会報告

- ・開催日 平成23年11月29日(火)
- ・評議員会 16時～17時40分
- ・理事会 17時45分～17時55分
- ・場所 東京マリアーヂュ
- ・報告事項
 - ①あいのわ支援センター谷中での「生活介護事業」開設について
 - ②足立あかしあ園の外壁改修工事等工事について
 - ③あいのわ福祉会「中期経営計画」について
- ・議案
 - 第1号議案 平成23年度上半期事業報告・決算報告(案)について
 - 第2号議案 規程の制・改訂について
 - 第3号議案 竹の塚あかしあの杜改修工事について
 - 第4号議案 平成23年度第1次補正予算について
 - 第5号議案 平成23年度決算前処理について

平成23年度上半期の各事業所の事業報告・決算報告(案)、並びに前記議案についてご審議をいただき、全ての議案が原案通り承認されました。

東日本大震災から8か月余りが経ちましたが、この間法人といたしましても被災地への福祉専門職としての職員派遣、物的支援、各施設では復興支援バザーを開催しました。また、震災の教訓を生かし法人全体の防災対策の見直しを進めております。自然の脅威を改めて実感した年でしたが、障がい福祉の分野では8月に障がい者制度改革推進会議総合福祉部会より障害者総合福祉法(仮称)骨格提言素案が発表されました。早期制定が期待されるところです。

また、今回の理事・評議員会では、法人の中期経営計画(案)が発表されました。今後も更に検討を重ね、着実に計画を履行していきたいと考えております。

年末を控え慌ただしくなってきましたが、ご支援とご指導に感謝申し上げますとともに、明年もよろしくお願い申し上げます。

ソウェルクラブ海外研修報告

平成23年9月9日から9月17日までの9日間、ソウェルクラブの海外研修に参加させていただきました。スウェーデンでは脊髄損傷の方が中心のリハビリ施設と、重度知的障がい者のデイケアセンター、フランスでは、児童から高齢者までの複合的な職業訓練センターと児童の身体的機能回復のリハビリや生活機能訓練を行う施設に見学にいきました。

福祉の先進国と言われる国で、どの施設も障がいのある方に対して、専門的な知識や技術に裏付けされた丁寧で系統立てられた支援を行っていました。支援技術や施設の形態、障がいのある方の状況等に関しては、日本と大きな差はありません。大きな違いは、本人支援の意識の部分や、制度の違いでした。私は今回の研修で改めて「自立とは」ということを学ばせていただきました。

私自身も日常の関わりの中で、「自立」「自己選択」「自己決定」ということは意識しているつもりでした。支援者側や関係者がこのことを意識して関わっています。しかしスウェーデンでは、パーソナルアシスタント制度という、ご本人のニーズに応じてできない部分を支援する派遣制度があります。これはご自身がパーソナルアシスタントと直接雇用契約を行うそうです。重度の障がいの方も利用されています。サービスを利用する側の責任のあり方の一つだと思いましたが、日本では「利用している」枠の中に留まっています。その中で自己選択、自己決定は支援者側の主導で行っているのが多く見受けられます。また脊髄損傷のリハビリ施設では、障がいのある方がインストラクターを務め、利用者の復帰のモデルとして、生活の様々な面でご本人に助言をしていました。

両国とも、個人の自立・責任という意識が社会の中に根付いているため、能力を伸ばして社会復帰に繋げるという意識が、関係者だけでなく、障がいのある方も高く持っていました。我々は日頃の支援において、サービスを提供する関係性の中で、どうしても一方の支援になりがちです。日本の習慣や国民性等もあり同じ考えを持つことはできませんが、本来「自己選択」「自己決定」ということがどのようなことかということを変えていく必要性を強く感じました。

(大谷田就労支援センター 酒井紀幸)

足立あかしあ園だより

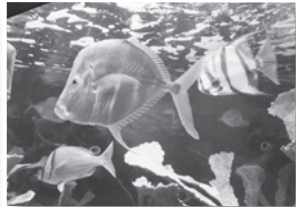
夏日があつたかと思つたら、急に寒くなりバタバタと秋から冬へと向かっていることを感じます。大きく変化する気候に体調を整えることが難しい毎日ですね。

10月18日には、Dグループが池袋サンシャインシティの水族館へ出かけてきました！

大人の雰囲気のあるレストランでゆつくりおいしい料理に舌鼓を打ち、屋上の水族館へ♪色とりどりの魚たちや、水の流れる壁のある通り、幻想的なクラゲのトンネルに皆さん目を丸くして楽しんでいらつしやいました！

また、10月29日

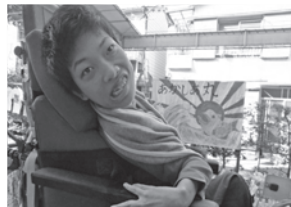
(土)には「東日本大震災 ふれあい 義援バザー」を開催いたしました！



今年は例年の「ふれあいフェスティバル」とは異なる義援バザーということで一つ一つの復興支援の思いを込めて準備をしてきました。

出店や笑顔の絵の製作、当日運営でのボランティア等では地域の方々にたくさんのご協力をいただき、感謝しております。ありがとうございます。

復興を願う製作した大漁旗や心をこめて利用者の皆さんと書いた絵やメッセージ、またお客様にご協力いただいた壁一面の寄せ書きを、風に乗せて被災者の方々お一人お一人の心に届けようと150本の風車を飾りました。たくさんの方々温かいご協力と



来園してくださったお客様と一緒に、力を合わせて開催することができました！

今後も足立あかしあ園一同復興支援に向けてできることから取り組み、寒さに負けずに元気に日々を過ごしたいと思っています。

「元気があれば何でもできる！！」心と身体の元気から、希望はうまれま

すから♪ (森)

綾瀬あかしあ園だより

10月に入り、日が落ちるのが、すっかり早くなり、冬が近づいている事を感じます。

綾瀬あかしあ園では、来年度へ向けての準備を進めています。グループ再編成が大きな動きとなります。

利用者さん、ご家族の皆様にとつては変わる事での不安も大きいと思いますが、一歩ずつ、皆さんの持っている力を活かす、やりがいを感じるよう皆で作ります。



げていければと思います。

10月は行事づくしで、「たくみにふえすていばる」では、職員による華麗なダンス披露&被災地の物産を多く取り入れた大バイキングを行い、お腹も心も満たされた一日となりました。太田施設長のピンクレディーは、なんともインパクト大！でした。

また、10月後半には、大運動会をおこない、昔に戻ったようななんだか懐かしい気持ちで、皆さんとても良い表情をして参加していました。少し、若返ったような気が・・・します。今後も行事が続きますので、皆で楽しんで素敵な時間になりたいと思います。

(森)

竹の塚あかしあの杜きずな (生活介護入所) だより

朝の寒さが身にしみて、起きるにもなかなか布団から出るに出られない季節になりました。

9月の話になりますが、竹の塚あかしあの杜きずなでは買い物班の外出が事故もなく無事に行われました。買い物班では欲しいものが何でもそろって、美味しいものが食べられて、1日



中樂しめる「越谷レイクタウン」にバスで行ってきました。車中ではボランティアさんと楽しそうに話をしていたり、何を買って何を食べるのかを考えている利用者の方々がいました。

現地に着くと早速、目的のものを購入する為に行動する方、まずは腹ごしらえと昼食を何にするか選ぶ方、ゆつくりとウインドーショッピングを楽しまれている方もいました。

同行した職員から利用者の方々の様子を聞くと、やはり食事をしている表情が印象的だったそうです。バイキングでおかわりし、お腹いっぱいで大満足した方、老舗ハンバーグを堪能した方等と、大外出を利用者の方々は個人個人で満喫され、杜に帰ってきた皆さんは疲れた表情は見せず、にこにこ笑顔がとても輝いていました。帰ってきた後も、お土産話で盛り上がりつつありました。

さて今後の杜では、アウトドア班・行楽地班・イベント班と大外出が目白押しとなっています。更に、被災地派遣も継続して10月から11月にかけて行う予定です。冷える季節になります。寒さに負けずに元気モリモリ、楽しく過ごして頂けるよう、頑張ります！みなさまもお体には十分に、お気をつけてお過ごしください。

(関)

竹の塚あかしあの杜のぞみ (生活介護通所) だより

竹の塚あかしあの杜では、9月16日に利用者企画のイベントがありました。今回のイベントでは、午前中に音楽クラブの発表をしました。曲

は、K A R A の「ミスター」・いきものがかりの「ありがとう」・A K B 48 の「会いたかった」を演奏しました。明るい曲調だったので、



すごく盛り上がりました。午後には、グループ対抗でボーリング大会を行いました。グループがグループの仲間を応援して白熱したボーリング大会になりました。

9月26日からは第2回目の小外出を行っています。前回は大きな地震があり、外出は足立区内の外出だけになっていましたが、今回は地震の影響も薄れた事もあり、足立区外の外出も可能になりました。

今回の外出では、お台場や池袋のサンシャインシティなどさまざまな場所

に行きました。外出できる幅が増えたことによって利用者さんの希望にも答えられるようになり良かったと感じています。

11月にはバス外出があります。作業グループは浅草観光で、創作グループは葛西臨海公園です。今から計画を立てて楽しみにしています。(和田)

大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

10月16日(日)、荒川河川敷で開催されたタートルマラソンに、総勢21名で参加しました。

大谷田のマラソン大会参加のきっかけは、2年前にホームに入居された方の「俺も昔は走っていたんだよ。10kmなんか軽いよ。」の一言で始まりました。当初は職員3名、ホーム入居者1名の挑戦でしたが、3年



目の今年はセンタール利用者5名、ホーム入居者2名、職員14名、伴走者4名の大所帯となりました。

毎年、個々人で目標を立てて

おり、タイムの短縮、完走などチャレンジする気持ちを持つて参加される方、自分がかまのできるのかなど自分自身に戦いを挑まれる方、「昔の俺は・・・」など、自分の衰えを感じながら今後の人生に活かす?方、目標は人それぞれです。

「どうせ走るなら目立とうぜ!」とアイデアを出し合い、全員が幅6cm、長さ2.8mのお揃いの深紅の大ハチマキに身を固めて走りました。図柄は、『あいのわ福祉会』のPRを込めた?・?・法人のロゴマークと、大谷田は凄腕一族との自負を込めた「SUGOUD E」を白抜きにし



ました。他のグループにも目立ちたがりやが多く、動物の着ぐるみやタイガーマスクのお面、ナースの制服で走る人など、様々なコスチュームで楽しく参加していました。しかし今年は気温が高く、そのコスチュームが裏目に出てしまった方が続出したようです。

当日は雨の予報が立てられていましたが30℃近い真夏日になり、蒸し暑く風も無い、マラソンには酷な陽気に一転しました。給水所は人だかりとなり、熱中症で23人の方がリタイアされていました。大谷田から参加したメンバーは疲労度はありましたが、今年も全員が無事に完走し、爽やかな笑顔を振りまいていたのが印象的でした。

この大会には、様々な障がいを持されている方がチャレンジされています。「できない」と決め付けることはたやすく簡単なことですが、どうすればできるのかを考えチャレンジする気持ちを持つことは良いことだと思います。一生懸命取り組んでいる姿は周囲に勇気を与えてくれます。24時間テレビを見て共感することも良いこととは思いますが、是非自らチャレンジして欲しいと感じています。

理事長、副理事長をはじめ、父母の会の皆さんからの差し入れや休憩場所のご提供ありがとうございました。来年も、大谷田は気合を入れて「タートルマラソン」に挑戦します。(加藤)

神明福祉園だより

先月、日帰り旅行にデイズニールランドへ行ってきました。3班に分かれて出掛けたのですが、3日間とも天候に恵まれて(残暑がきびしく暑かったぐらいです。)、地震の心配もありましたが、無事に行けて帰って来ることができました。

1班目の、ゆったり組は、到着して真っ先にお揃いのデザインのTシャツを購入して、すぐに着替えてパークへ散策に出ています。ハロウィーンパレードでは、音楽とダンスに次第に気分も盛り上がってきて、体全体で楽しみました。

2班目の、ほのぼの組は、到着して早めに昼食を摂ってから、各々のペースに合わせて行動しました。アトラクションを



楽しんだ方、おやつに目を奪われた方、おみやげ購入に夢中になった方等・・・それぞれの楽しみ方で満喫しました。

3班目の、のびのび組は、到着してまず全体で記念撮影をしてから、各グループに分かれて、行動を開始しました。昼食をすぐに済ませて、パーク内を元気に動き回りました。1つのグループでは、上手にパスを使って、人気のアトラクションを制覇していました。

さて、旅行行事を終わり、福祉園では、11月のお祭りに向けての準備に大忙しです。今回は被災地支援を兼ねて、被災地の物品を販売する予定です。みなさまのご来園お待ちしております。(北出)

神明デイサービスセンターだより

秋も深まり、朝晩は冷え込むようになりしました。季節の変わり目で体調も崩しやすい時期ですが、デイサービスの皆さんはお元

気で活動に参加しています。11月13日開催のイーストウェーブフェスティバルに向けて、発表会の練習や展示作品



の作成に余念がありません。

恒例となったアリオ亀有でのランチ外出もあと1回ですべての日程が終わります。これまで事故等なく無事に過ごせたこと、多くの方々のご協力によることと、改めて感謝申し上げます。

10月31日に、演歌歌手の麻生直花さんがミニコンサートにいらして下さいました。美空ひばりさんの「川の流れのように」や「お祭りマンボ」はじめ、童謡など、利用者さんがよく知っている曲を多数披露して下さい、皆さん一緒に歌ったり、声援を送ったりと、とても盛り上がった時間を過ごすことができました。

また今年度は中央本町の地域学習センターとの交流を始め、ミニコミ誌を持ってきて下さったり、いろいろなサークル活動を紹介していただいたりと、社会参加の幅が広がったように思います。今後も地域の交流を広げながら、利用者さんが地域で充実した生活を送ることができるように、職員も努力するつもりです。

この新聞が皆さんのお手元に届く頃は年末も近いことと思います。利用者さんも職員も心身の健康に気を配り、



寒い冬を温かな心で過ごしていけるようにしたいと思います。
(本間)

神明福祉作業所だより

ふと気が付くと今年もあと1ヶ月。今年も色々あったと振り返る時期ですね。

さて、福祉作業所の近況を紹介させていただきます。

あおぞらグループでは第2回社会生活力アップセミナーを実施しました。今回のテーマは「セルフケアく身だしなみに気を付けよう」です。スライドやチェック表を見ながら、みんなで普段の身だしなみを確認していました。

かりんグループでは、第3回の企画行事「秋の大収穫祭」を行いました。農園で育てているサツマイモを収穫し、スイート



ポテトにして食べました。とてもあま〜いおイモでした。

少し早いですが、来年もあおぞらグループ、かりんグループともに作業、活動と楽しんで取り組んでいこうと思います。
(神田)



グループホームオハナだより

秋らしい、過ごしやすい陽気になってきました。

通所から帰ってくるとお散歩にいくのを毎日楽しみにしています。夕食の買い物や公園に行ったりしながらゆったりと過ごしています。

3日の祭日はデイズニースーのミラコスタへ外出に出かけました。

デイズニースーのショーを見ながら美味しいランチを堪能してきました。

デイズニースーは10周年のようですね。ショーマンも華やかで、ホテルのサービスも良くて頂き、思い出に残る楽しいひと時となりました。



でも残念ながら体調不良のお友達がおり全員参加出来なかった為、今回は全員揃って、出かけたかったと思っています。

来月にはクリスマス：次はどこに行こうかみんなで計画を立てています。これからインフルエンザも流行してくる時期ですので体調管理に配慮しながらみんなとの時間を充実させていきたいと思っています。

今月も皆様に大変お世話になりました。

佳い年をお迎え下さいますように。

(永山)

あいのわ支援センターだより

月日が経つのは早いもので、あいのわ支援センター谷中が開設してもうまもなく1年が経とうとしています。昨年の今頃は、新しく出来上がった建物で、お部屋のレイアウトはどうしよう？食器はどんな感じにしようかなど、これからご入居されるご利用者様の事を職員一同毎日悩んでいた事を懐かしく思います。

あの頃は、まだ職員だけしかなくひっそりとしていた谷中でしたが、ショートステイも始まり、ご利用者様12名とショートステイご利用者様と毎日賑やかで楽しい生活を送っています。

初めての一人暮らしに期待を弾ませ

ていた方、不安を抱いた方など様々な思いを持って谷中に入居された事と思います。日々、生活する中で新しい環境にも慣れ、今では、誕生日会の企画や外出の企画、旅行の企画等色々な話もわいてくる程です。谷中のみんなでの旅行もそう遠くない内に実現してしまうのではないかなと思える程です。

入浴サービスについては、少しずつご利用されるお客様も増え、毎回いいお湯をご用意してお待ちしています。これからの時期は少し寒くなってきましたが、床暖房や各部屋に暖房を完備しておりますので、温かくご利用できるように整えております。

また、入浴だけではなくお食事をしてのんびりとお帰りになるナイトケアのご利用も増えていきます。家庭的な空間で温かいお食事と入浴サービスのご利用はいかがですか？

皆様のご要望やご意見を取り入れながら、今後もよりよいサービスの提供に努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。
(吉見)

■タートルマラソン模擬店出店報告

今年は国際大会ということで、例年にも増して盛大でした。お疲れ様でした。関係者の皆様のご協力を感謝いたします。

・売上 135,253円

投稿欄

（俳句・川柳など募集中です）

手術終え ベットに寝かされ 戻り来る 我子の姿に 胸あつくなり
 菊日和 運河通りに 植木市

佐々木きよ子
 秋山 啓司

この一句

「柿くへば 鐘が鳴るなり 法隆寺」

正岡 子規

柿は種類も多く、ほぼ全国的に分布している。栄養分も豊富で生活習慣病の予防にも効果があるといわれている。秋も深まり、遠くの人々には初冠雪もみられ、葉の散った梢には柔らかな朱色の実が青空に映える。よく見られる、日本の平穏な村里の原風景の一つである。（秋山）

後援会だより

（平成23年9月～10月）敬称略、順不同

◇特別会員（1口1万円）

山下俊樹（3口）、川名安之介、稲場和子

◇団体会員（1口5千円）

六ツ木診療所（10口）

◇個人会員（1口3千円～5千円）

佐々木きよ子

◇寄付者

若林登紀子、大山光男、嘉藤良治、川俣豊、後藤守宏
 佐久間庸夫、鈴木新一郎、村松信一、山本鑛一、渡辺和彦

竹の塚あかしあの杜「なごみ」

（平成23年9月～10月）

短期入所事業利用状況

利用人数	81名	内児童	10名
延べ利用日数	300泊	内児童	36泊

編集後記

東日本大震災、原発事故そして台風と相次いで災害に見舞われた今年が、間もなく終わろうとしています。

震災から8か月、今もなお被災された方々を思うと胸が痛み失ったもののあまりの大きさに言葉ありません。

3月11日を境に故郷や絆について想いを新たにされた方も多いのではないのでしょうか。

そして、ありふれた日常の大切さを再認識された方も多くおられたのではないのでしょうか。

被災された方々の一日も早い復興を祈るとともに、寒さが増してくるこれから季節、不自由のない生活が送れますことを切に願うのみです。

今年度、法人の各施設では、施設祭をはじめとする多くの行事を自粛し、支援活動（義援金、救済物資、職員派遣等）を積極的にを行い、気持をお届けすることができました。

支援活動はこれからも継続的に取り組んでいかなければならない大きな活動の柱です。

今後も、「明日は我が身」を胸に、助け合いの精神を旺盛にして皆でがんばっていききたいですね。

さて、今年も法人ニュースをご愛読いただきありがとうございます。次年度もスタッフ一同気持も新たに読みやすい法人ニュースを目指してがんばりますので、どうぞよろしく願います。

少し早いです、皆さまには良いお年を!! （磯前）

●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願ひ、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。

一人でも多くの方々に賛同いただき、後援会への加入ご支援をお願い致します。申し込み・お問合せは後援会事務局 電話（3849）1188まで